

第97期 中間報告書

(2022年4月1日から2022年9月30日まで)

証券コード 9713



会社概要 / 株式情報

会社概要

| | |
|-------|------------------|
| 設立年月日 | 1932年2月10日 |
| 資本金 | 1億円 |
| 本店所在地 | 大阪市北区中之島5丁目3番68号 |
| 事業内容 | 宿泊、貸席及び料理飲食の販売等 |
| 従業員数 | 1,058名 |

役員 (2022年9月30日現在)

| | |
|-------------|--------|
| 代表取締役社長 | 蔭山 秀一 |
| 代表取締役常務執行役員 | 植田 文一 |
| 代表取締役常務執行役員 | 荻田 勝紀 |
| 取締役常務執行役員 | 浅沼 吉正 |
| 取締役執行役員 | 田沼 直之 |
| 取締役執行役員 | 中川 智子 |
| 取締役 | 松下 正幸 |
| 取締役 | 奥 正之 |
| 取締役 | 尾崎 裕 |
| 取締役 | 白井 博文 |
| 監査役(常勤) | 五弓 博文 |
| 監査役(常勤) | 眞田 政典 |
| 監査役 | 橋本 和正 |
| 監査役 | 北川 健太郎 |

株式の状況 (2022年9月30日現在)

| | | |
|----------|------------------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 普通株式 | 20,000,000株 |
| | A種優先株式 | 300,000株 |
| | B種優先株式 | 40,000株 |
| | C種優先株式 | 160,000株 |
| 発行済株式の総数 | 普通株式 | 10,271,651株 |
| | (自己株式29,534株を含む) | |
| | A種優先株式 | 300,000株 |
| | B種優先株式 | 40,000株 |
| 株主数 | 普通株式 | 12,331名 |
| | A種優先株式 | 1名 |
| | B種優先株式 | 1名 |
| | C種優先株式 | 1名 |

大株主 (上位10名)

(1) 普通株式

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--------------------|---------|---------|
| アサヒビール株式会社 | 1,961 | 19.15 |
| 森トラスト株式会社 | 1,953 | 19.07 |
| サントリーホールディングス株式会社 | 1,026 | 10.02 |
| 関電不動産開発株式会社 | 410 | 4.00 |
| 株式会社三井住友銀行 | 292 | 2.85 |
| 大阪瓦斯株式会社 | 292 | 2.85 |
| 株式会社竹中工務店 | 276 | 2.70 |
| 日本生命保険相互会社 | 161 | 1.58 |
| 三井住友海上火災保険株式会社 | 156 | 1.52 |
| 三井住友ファイナンス&リース株式会社 | 133 | 1.30 |

(注) 持株比率は自己株式を除く発行済株式の総数に対する持株数の割合です。

(2) A種優先株式

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|------------|---------|---------|
| 株式会社三井住友銀行 | 300 | 100.00 |

(注) A種優先株式は、無議決権株式です。

(3) B種優先株式

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--------------------|---------|---------|
| SMBCCP投資事業有限責任組合1号 | 40 | 100.00 |

(注) B種優先株式は、無議決権株式です。

(4) C種優先株式

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--------------------------|---------|---------|
| DBJ飲食・宿泊支援ファンド投資事業有限責任組合 | 160 | 100.00 |

(注) C種優先株式は、無議決権株式です。

インターネット・ホームページ

<https://www.rihga.co.jp/>

リーガロイヤルホテル
グループ宿泊のご予約は、
専用フリーダイヤル ☎0120・116180
月～金/9:00a.m.～6:00p.m. 土・日・祝/10:00a.m.～4:00p.m.



当社公式ホームページへは、QRコード対応のスマートフォンで、左のQRコードをスキャンしていただいてもアクセスできます。

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月開催

基準日

定時株主総会 毎年3月31日

期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

☎0120-782-031

受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)

インターネットホームページURL

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

よくあるご質問 (FAQ)

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

公告の方法

電子公告により公告します。< <http://www.rihga.co.jp>>

但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告をすることとします。

上場金融商品取引所

東京証券取引所(スタンダード市場)

◆ 株主総会資料の電子提供制度のご案内

2023年3月以降の株主総会から、株主総会資料は原則ウェブサイト上でご確認いただくこととなります。インターネットの利用が困難な場合等、株主総会資料を紙面で受領されたい株主様は、2022年9月1日から書面交付請求のお手続きをお取りいただくことができます。お手続き方法につきましては、以下にお問い合わせください。

証券会社 : 当社の保有株式口座を開設している証券会社
株主名簿管理人: 三井住友信託銀行 証券代行部
電子提供制度ダイヤル: 0120-533-600(平日 9:00～17:00)
※書面交付請求書のご請求には株主番号が必要となります。



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに当社第97期上半期における

事業の概況と決算の概況についてご報告申しあげます。



代表取締役社長
蔭山 秀一

事業の概況

当上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが進みました。一方、長期化するウクライナ情勢や急速な円安による物価上昇、原材料・エネルギー価格の高騰等、経済の下振れリスクを残し、依然として不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、まん延防止等重点措置が解除され、全国自治体による旅行・宿泊割引キャンペーン等が実施され、2022年10月には政府による全国旅行支援が開始されました。また、外国人観光客の入境制限が見直されるなど、明るい兆しも見えております。一方、原材料費・光熱費を始めとした各種コストの上昇により、引き続き厳しい事業環境下に置かれております。

こうした環境下、当社グループはおお客様の安全・安心を第一に考え、感染予防を徹底したうえで営業活動にあたり、生産性と業務効率の向上を柱に、「ホテルビジネスの再構築」、「マーケティング力の強化」、「人事運営の改革」に取り組んでまいりました。

「生産性と業務効率の向上」については、部門を越えたサポート体制を充実し多役化の練度を上げることにより、さらなる生産性の向上に努めました。加えて、購買・調理・物販製造等の新システムを導入し、棚卸業務、食材管理、原価データ等と受発注の統括管理ができる体制を構築いたしました。

「ホテルビジネスの再構築」については、2022年4月21日に当社グループにとっては28年ぶりとなる海外での新ホテル「リーガロイヤル・ラグーナ・グアム・リゾート」を開業いたしました。

また、リーガロイヤルホテル(大阪)では、「日本の自然」をデザインした、心潤う癒しの空間を提供するナチュラルコンフォートフロアを、新たにサステナブルステイフロアへと進化させました。ホテルとして、非日常を提供しながらも、お客様にとっても持続可能な社会を実現する取り組みを進めております。

設備面では、グランメゾンである「レストランシャンボール」を2022年4月にリニューアルし、店内に展示する絵画や新たに設けた「サロンスペース」で過ごすアペリティフタイム等、非日常を存分に堪能いただける設けにいたしました。

「マーケティング力の強化」については、スマートフォン向けアプリを活用した会員サービス「リーガメンバーズ」の会員獲得に注力し、2022年11月時点で会員数約20万人と多くのお客様にご利用いただいております。また、新たに「宿泊戦略推進室」を本社に発足させ、当社グループを横断して宿泊部門の販売戦略や業務効率化の支援を開始いたしました。グループ共通の海外向けデジタルマーケティングやプロモーションを主導し、コロナ後のインバウンド受注に向けた取り組みを推進しております。

「人事運営の改革」については、AIやデジタルトランスフォーメーションを始めとする新たな知識やスキルを学ぶオンライン研修を開始し、従業員のリスクリテラシー

(学び直し)や自己実現のサポートに取り組みしました。

また、従業員のモチベーションの維持・向上のために、処遇の改善を実施いたしました。若年層教育の一環として、直属ではない先輩と知り合い、サポートを受ける「メンター制度」をグループホテルに展開いたしました。さらに、女性の視点から働き甲斐の醸成と働きやすさの整備について考える部門横断チーム「Royal Women's Committee」の活動をスタートいたしました。

このように足元の業況を踏まえた施策とともにコロナ後を見据えた施策に取り組み収益の改善に注力してまいりました。

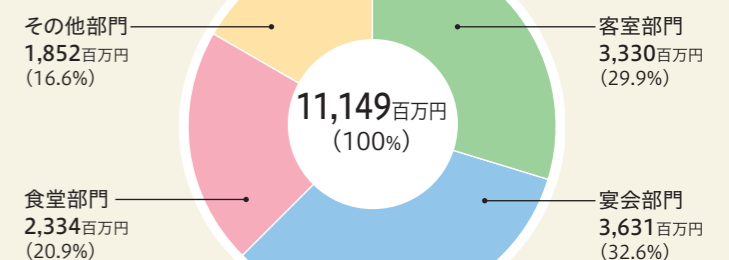
この結果、当上半期の連結売上高は、全部門で前年同期実績を上回り、11,149百万円と前年同期比4,763百万円(74.6%)の増収となりました。

損益面では、連結営業損失2,492百万円(前年同期は連結営業損失5,087百万円)、連結経常損失1,783百万円(前年同期は連結経常損失3,055百万円)となり、親会社株主に帰属する中間純損失は1,807百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失3,171百万円)となりました。

これらの業績に鑑み、中間配当につきましては、誠に遺憾ではございますが見送らせていただきたく、株主の皆様には心よりお詫び申しあげます。

今後も、引き続きお客様の安全・安心を第一に考え、従業員の手洗い、マスク着用及び健康管理、ホテル館内の感染予防対策をより一層徹底し、営業活動を進めるとともに、回復基調にある宿泊・料飲需要の取り込みにも注力してまいります。また、収益面では、スタッフの多役化やホテル運営の効率化を進め、業績改善に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

部門別売上高



中間期決算のご報告

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前期末 2022年3月31日現在 | 当中間期末 2022年9月30日現在 |
|----------------|---------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 5,922 | 5,122 |
| 固定資産 | 53,998 | 53,489 |
| 有形固定資産 | 41,452 | 40,935 |
| 無形固定資産 | 303 | 346 |
| 投資その他の資産 | 12,241 | 12,207 |
| 資産合計 | 59,920 | 58,611 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 8,711 | 10,131 |
| 固定負債 | 35,120 | 34,178 |
| 負債合計 | 43,832 | 44,309 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 16,149 | 14,342 |
| 資本金 | 100 | 100 |
| 資本剰余金 | 20,835 | 20,835 |
| 利益剰余金 | △ 4,724 | △ 6,531 |
| 自己株式 | △ 61 | △ 61 |
| その他の包括利益累計額 | △ 61 | △ 40 |
| 純資産合計 | 16,088 | 14,302 |
| 負債純資産合計 | 59,920 | 58,611 |

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 前中間期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで | 当中間期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで |
|--------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 6,386 | 11,149 |
| 売上原価 | 1,425 | 2,399 |
| 売上総利益 | 4,960 | 8,750 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,048 | 11,243 |
| 営業損失(△) | △ 5,087 | △ 2,492 |
| 営業外収益 | 2,199 | 885 |
| 営業外費用 | 167 | 176 |
| 経常損失(△) | △ 3,055 | △ 1,783 |
| 特別損失 | 105 | 20 |
| 税金等調整前中間純損失(△) | △ 3,161 | △ 1,804 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6 | 6 |
| 法人税等調整額 | 3 | △ 3 |
| 中間純損失(△) | △ 3,171 | △ 1,807 |
| 親会社株主に帰属する中間純損失(△) | △ 3,171 | △ 1,807 |

百万円未満は切り捨てて表示しております。

サステナビリティの実現に向けて



人材への取り組み

「RIHGA ROYAL 健康経営宣言」

健康経営を宣言し、従業員の健康増進に取り組んでいます。今年度は重点項目に「禁煙」「疾病の早期発見・早期治療」を設定しました。禁煙サポートの強化、就業時間内の禁煙、喫煙所の閉鎖を行い、喫煙率の低下に繋がりました。健康診断後のフォローアップの強化と、乳がん検診を社内検診で受診できるよう体制整備に取り組みました。メンタルヘルス対策やワークライフバランスにも注力し、2年連続で健康経営優良法人に認定されました。従業員が心身ともに元気に働き続けられるよう健康施策を実施してまいります。



人材への取り組み

リスクリング(学び直し)推進

リスクリングを推進するため、e-ラーニング「Schoo(スクー)」を導入しました。場所や時間に縛られない動画研修形式で、デジタルトランスフォーメーション、マーケティング等の受講を推奨しています。事業成長の鍵となるスキル習得により環境変化への適応力を高め、生産性の向上と働きがいの創出を図ってまいります。



環境への取り組み

「緑の募金」への寄付

リーガロイヤルホテル(大阪)では、環境保護活動支援の一環として、宴会売上の一部を公益社団法人国土緑化推進機構による「緑の募金」に寄付する取り組みを始めました。対象プランご利用お一人につき50円を寄付し、「緑の募金」を通じて森林整備、森林環境教育、緑化支援等に使われます。



NEWS CLIP

営業情報のお知らせ

リーガロイヤルホテルグループ

「リーガメンバーズ」会員数20万人突破 2022.11

グループ全12ホテルの宿泊やレストラン等の利用でポイントが貯まり、利用すればするほどお得な特典やサービス[※]を受けられる会員サービス「リーガメンバーズ」。2021年4月に発足し、2021年8月にはスマートフォン向けアプリが誕生。2022年11月に会員数20万人を突破しました。今後も最適な情報を最適なタイミングでお届けし、お客様の人生に寄り添うホームホテルとして、ホテルライフを充実させるさまざまな情報を提供してまいります。

※ホテルにより特典・サービスが異なります。



入会金・年会費無料

当ホテルグループでしか体験できない商品・サービスのご提供

リーガロイヤルホテル(大阪)の「メインラウンジ」では、日本庭園の滝や吹き抜けの開放感を活かし、ライトアップした幻想的な空間でお食事などを楽しむ「納涼の天の川ラウンジ」を開催。また、リーガロイヤルホテル小倉では、北九州市の「日本新三大夜景都市」全国1位を記念して、客室から夜景を望めるステイプランを販売しました。今後も、皆様にご満足いただけるよう当ホテルグループならではの商品・サービスを届けてまいります。

「メインラウンジ」でサマイベントを開催 2022.08

約25万個のクリスタルガラスを用いたシャンデリアをライトアップし、水の回廊には天の川のようなイルミネーションの演出も。緑と水と光の調和が美しい空間で、ジャズの生演奏を聴きながら、ホテルオリジナルのお弁当やシャンパンなどをお楽しみいただきました。



リーガロイヤルホテル(大阪)メインラウンジ

「日本新三大夜景都市」全国1位記念プランを販売 2022.05

北九州市唯一の高さを誇るシティホテルならではの魅力を活かし、小倉の街から「皿倉山」、「若戸大橋」まで見渡せる客室をご用意。



リーガロイヤルホテル小倉 客室から望む北九州市の夜景イメージ

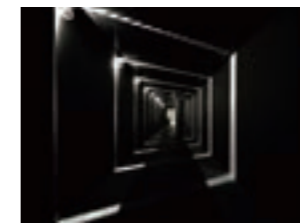
リーガロイヤルホテル(大阪)

新コンセプトレストラン「THE RAY」オープン 2022.10

2022年10月に新コンセプトレストラン「THE RAY」がオープン。光をテーマにした設計で、余計なものは加えない、そぎ落とされた空間が誕生しました。シンプルだからこそ、空間、照明、体験全てが掛け合わさるその先で、主役の料理と向き合える場所。当社の長い歴史の中で積み上げられてきた料理の技術と、光が誘う新たな空間で、ここだけの食の体験をお楽しみいただけます。



日本の四季を感じられる一皿



「光」の演出を用いた店内へのアプローチ

アバターオンライン接客サービスを開始 2022.10

婚礼部門では、式場をお探しのお客様に向け、アバターを使ったオンライン接客サービスを開始しました。お客様ご自身のスマートフォンやパソコンで、ホテル公式サイトからアクセスいただくだけで、オンラインでの事前相談が可能です。来館せずに手軽に相談できるだけでなく、アバターで対応することで初対面の緊張感をやわらげる効果が期待されます。より気軽にご相談いただき、ご来館へと繋げるアプローチのひとつとして展開します。



サービス料の改定(リーガロイヤルホテル(大阪)・リーガロイヤルホテル東京)

2022.10

2022年10月1日より、今後も安全・安心にホテルをご利用いただくための環境の整備やサービス品質の維持・向上のため、上記2ホテルのサービス料につきまして、10%から15%に変更させていただきます。

株主の皆様におかれましては誠に恐れ入りますが、諸般の事情ご賢察のうえ、ご理解くださいますようお願いいたします。

引き続き変わらぬご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願いたします。

